

平成 28 年度不祥事ゼロプログラム【検証結果】

検証結果（A：目標達成 B：ほぼ目標達成 C：さらに努力する必要あり）

取組課題		目標	行動計画	検証結果
1	公務外非行の防止	職員一人ひとりが、公務員としての自覚をもち、公務外において生徒・保護者・県民の信用を損なわないよう、意識啓発を図る。	毎回の事故防止会議や朝の職員打合せ等で注意喚起をして事例を示し、公務外非行のないよう公務員としての自覚を高める。 4月当初の事故・不祥事防止会議で、神奈川県職員行動指針及び職員啓発資料を配付し、県職員としての自覚を高める。	A
2	わいせつ・セクハラ行為の防止	スクールセクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	日常的に職員の意識啓発を図るとともに、職員啓発資料等をもとに、平成28年5月及び10月に事故防止会議を行う。	B
3	体罰・不適切な指導の防止	生徒に対する不適切指導・体罰の未然防止を図る。	日常的に生徒指導に関する情報交換を密に行い職員の意識啓発を図るとともに、職員啓発資料等をもとに、平成28年5月に事故防止研修会を行う。	A
4	適切な私費会計処理	学校徴収金・団体徴収金・部費・合宿費等の執行と会計管理を、「私費会計事務処理の手引き」にもとづいて適正に行うとともに、帳票類の整理を行う。	i 平成28年4月に私費会計担当者に配付した「私費会計事務処理の手引き」をもとに適正な会計処理が行えるよう日常的な指導を行う。また、平成28年6月に全職員に財務事務調査結果に関する資料を配付し、私費執行に関する意識啓発を図る。	A
			ii 平成28年7月に合宿実施部活動会計担当者に対して、決算報告など帳票類の統一的な作成について資料配付を行う。	B
			iii 平成28年10月に、私費会計に関する外部講師による研修会を行い、適正な処理の徹底を図る。	C
5	個人情報の適切な管理・情報セキュリティ対策	個人情報の漏洩・紛失等の事故を未然に防止する。	日ごろの業務遂行体制をチェックするとともに、業務遂行マニュアル等を整備する。 平成28年5月及び6月に、啓発資料をもとに、所属教職員全員を対象にした事故防止研修を実施する。	B
6	酒酔い・酒気帯び運転および無免許運転の防止	道路交通に関する法令を遵守し、酒酔い・酒気帯び運転及びこれらによる交通事故の防止を図る。	平成28年12月に事故防止研修を実施し職員の意識啓発に努める。	A
7	業務執行体制の確認	法令・マニュアル等の諸規定に基づき、日常の点検やチェックを行い、適正な業務を遂行する。	職務執行について管理監督者への「報告・連絡・相談」を意識し、不祥事の未然防止を図る。	A

取組課題		目標	行動計画	検証結果
8	調査書・通知表等の作成、成績処理に係る事故防止	調査書・通知表及び成績処理に関する点検体制を確認する。	平成28年6月に、成績処理・点検に関する資料を配付し、事故の未然防止を徹底する。	A
			平成28年11月に、調査書発行事務に関する事故防止研修を行う。	B
			平成29年2月に、年度末の成績処理及び指導要録作成に関する研修を行う。	B
9	入学者選抜業務の事故防止	入学者選抜に係る事故を未然に防止する。	平成29年1月に、事故防止研修会を実施し、入学者選抜業務を細部まで確認して、職員の意識啓発に努める。	A
10	部活動における事故防止	日常の部活指導及び合宿・県外遠征等における指導に係る事故を未然に防止する。	平成28年4月及び7月に、事故防止研修会を実施し、適切な対応を確認する。	A
11	緊急時における生徒対応	健康上配慮を要する生徒に対して、個々の状態に合わせて適切に対応する。	平成28年5月に、健康上配慮を要する生徒の状況を共有し、適切な対応を確認する。	A